



森と海の自然科「川と街道を訪ねてーNo.10」

日野川流域のダムと歴史民俗資料館とホンシャクナゲ群落探訪(記録)

1. 日時: 平成30年4月26日(木)7時50分～8時
 2. 集合場所: JR島本駅又は阪急水無瀬駅に集合して
チャーターバスで現地に向かう。
 3. 参加者: 20名 (浅野、坂根、前野、倭、上條、乾、
日景、李三、伊藤、大石、金戸、藤井、山本、叶、小松、
植田、西井、原、元田、莊村、順不同)
- 今回は淀川水系日野川流域にあるホンシャクナゲ群落溪を散策し、昼食後蔵王、日野川ダムと近江日野商人館を見学した。



阪急水無瀬駅前を定刻通りに出発し、大山崎JCTから有料道路に入り京滋バイパス道と新名神高速道を乗り継ぎ甲賀土山ICを経て今日の目的地「近江日野商人和花のまち日野町」の鎌掛谷(かいがけだに)にあるホンシャクナゲ群落溪谷の入口に定刻の10時前に到着した。当日は少し肌寒かったが好天に恵まれ絶好の行楽日和の中溪谷散策を開始した。途中紅ドウダンツツジとカーネーション椿が我々を歓迎するかのように咲き誇っていた。



溪谷沿いの散策路



満開のホンシャクナゲ



フデリンドウ

散策路から見る対岸の溪谷一面に広がるホンシャクナゲの群落はとても見ごたえがあった。自然が作り出す美しさを改めて実感できて、すがすがしい気持ちで群生地を後にした。しゃくなげ池畔の東屋付近で昼食をとったが、その時誰かが小さな薄紫色の草花が咲いているのを見つけ当科の植物博士2人が「フデリンドウ」の花であると同定した。次に訪れたのは日野川流域にある蔵王ダムと日野川ダムであるが、その用途、構造は大きく異なるものであった。現地ではそれぞれの管理スタッフから詳しい説明をうけたが、普段中に立ち入ることのない施設だけに初めて聞く話



蔵王ダムの上で集合写真



蔵王ダムの地下通路への階段



蔵王ダムのダムカード

ばかりであった。とりわけ印象に残ったのは蔵王ダムの高さ56mの堤体最深部にある漏水管理用通路を見学できたことである。通路に至る階段はとてもきつかった。現地のスタッフは毎日階段(？段)を使って往復しているそうです。両ダムで帰り際に頂いたダムカード、私も手にしたのは初めてであるが、マニアの間では人気があるそうです。最後に訪れたのは日野の歴史的町並みの中にある日野町歴史民俗資料館(近江日野商人館)である。江戸時代、行商をしながら全国へ進出した日野商人たちの本宅が多く現存しており、ここもその1つで当時の面影を残している。



日野川ダムのダムカード



近江日野商人館



日野椀と萬病感應丸

ここで今日の活動予定を終えて、バスに乗り込み大阪への帰路につく。予定より30分程早く、全員無事に出発地(阪急水無瀬駅とJR島本駅)に到着し解散した。

写真: 坂根 記録: 莊村